

図書館における学習環境改善のための調査

東京学芸大学附属図書館
ラーニングコモンズ企画チーム

附属図書館では、2019年度末から2020年度にかけて、増築工事を計画しています。それに先立ち、図書館における学習環境の改善のためのアンケート調査を実施いたしました。回答いただきました皆様に御礼申し上げます。この結果を活かし、今年度末頃から着工する図書館増築に取り組んでまいります。

1. アンケート調査の目的

東京学芸大学附属図書館ラーニングコモンズの増築に伴い、その機能を強化するにあたって、学生の学習状況や図書館の利用方法、図書館に期待していることは何かを把握すること。

2. 調査対象・調査方法

本学学部生および大学院生を対象にウェブ上に公開する質問紙によって調査を行った。図書館を日常的に利用している者を中心に回答を募った。

広報については、図書館ウェブサイトからのリンクを用意する他、図書館内・学内でのポスター掲示、学芸ポータルメッセージでの全学生への回答依頼、入門セミナーでの周知、学習サポーター twitter での回答呼びかけなどの実施（紙媒体、電子媒体共に質問紙が公開されている URL の QR コードを掲載）。

調査期間：(卒業生向け) 2019年2月22日から2019年3月31日まで
(在学生向け) 2019年5月8日から2019年6月30日まで

3. 結果について

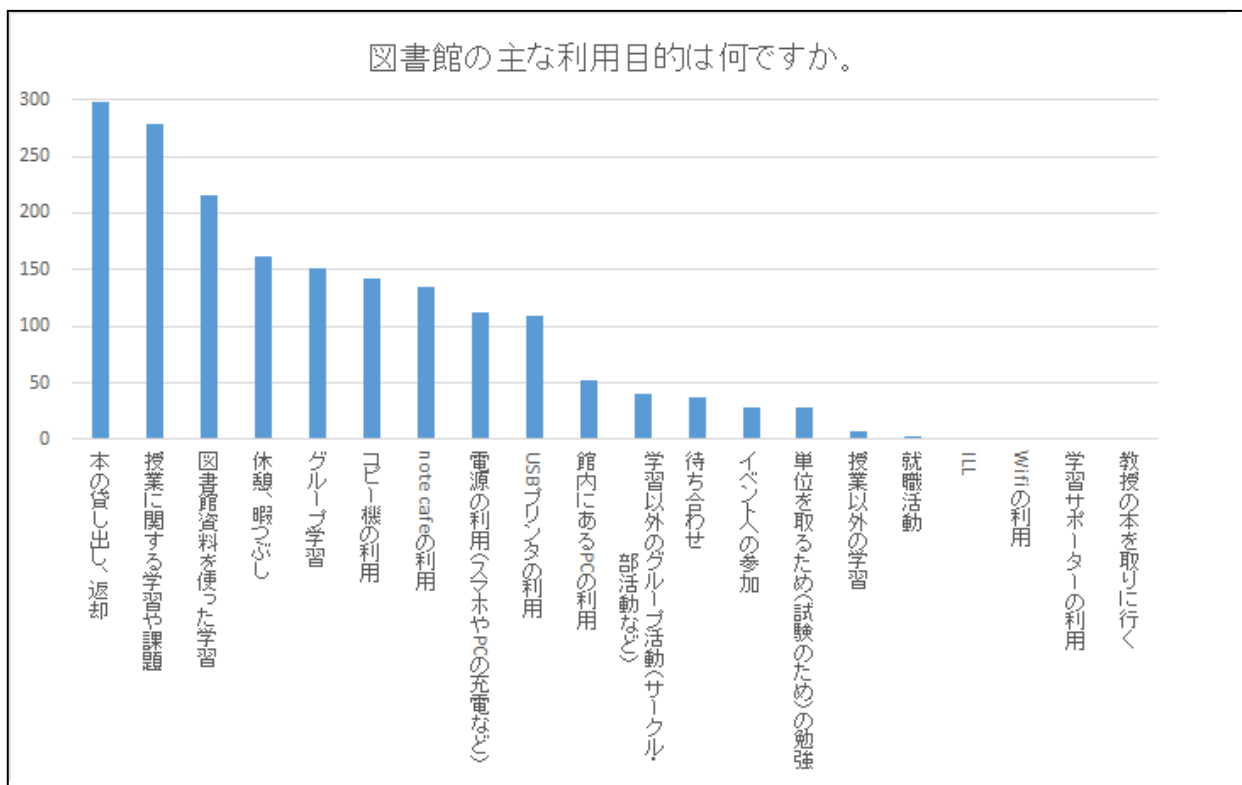
○回答総数 372 (学部生 284、卒業生 88)

アンケートの設問は 43 問で構成したが、次ページより、アンケートの主要結果を抜粋して掲載する。

アンケート結果<抜粋>

【主な利用目的は何ですか（複数回答可）】

図書館に関する主な利用目的の上位3位は、「本の貸し出し、返却」298、「授業に関する学習や課題」279、「図書館資料を使った学習」216であった。本を借りる場所としてだけでなく、学芸大生の学習の場として図書館が選ばれているということ分かる。



■グループ学習について

【グループ学習を行いますか】

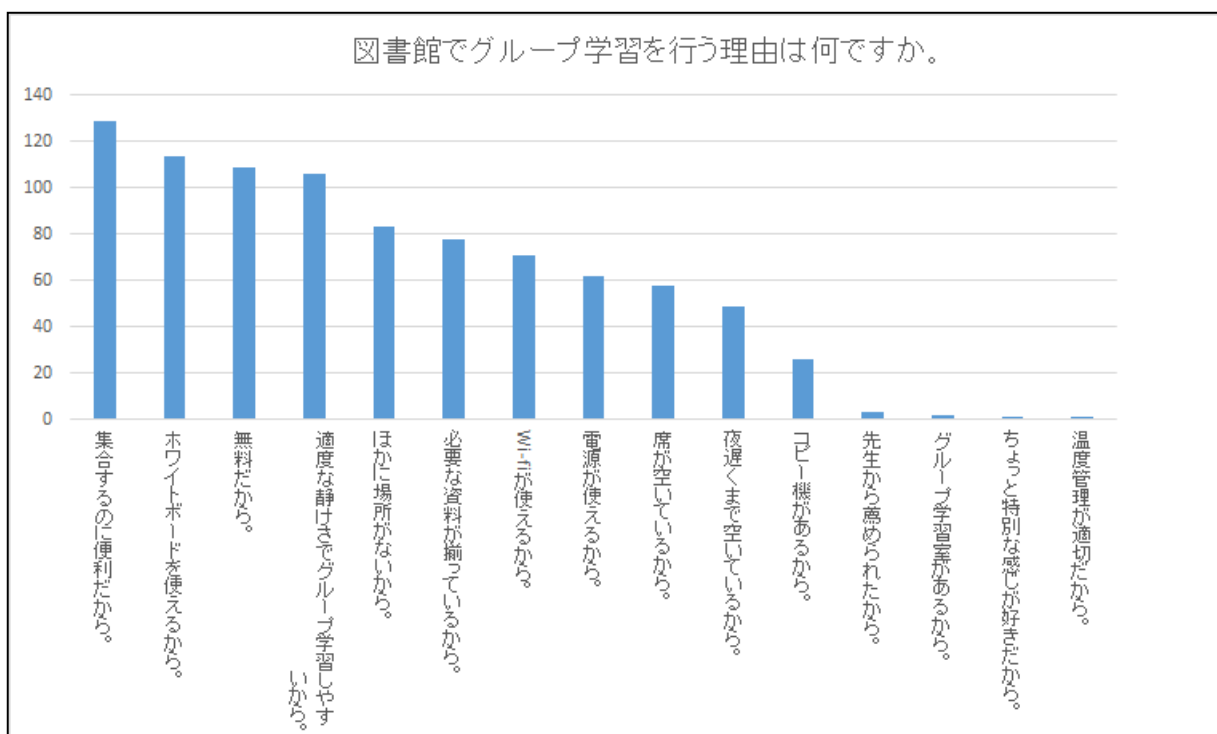
この質問に「はい/行います」という回答が222名、「いいえ/行いません」という回答が143名だった。アンケートをとった学芸大生の過半数が図書館に限らず、どこかの場所でグループ学習を行っている。

【グループ学習に図書館を使いますか】

グループ学習を行うかについて、「はい/行います」と答えた222名のうち、図書館を使うと答えた学生は201名だった。

【図書館でグループ学習を行う理由は何ですか。（複数回答可）】

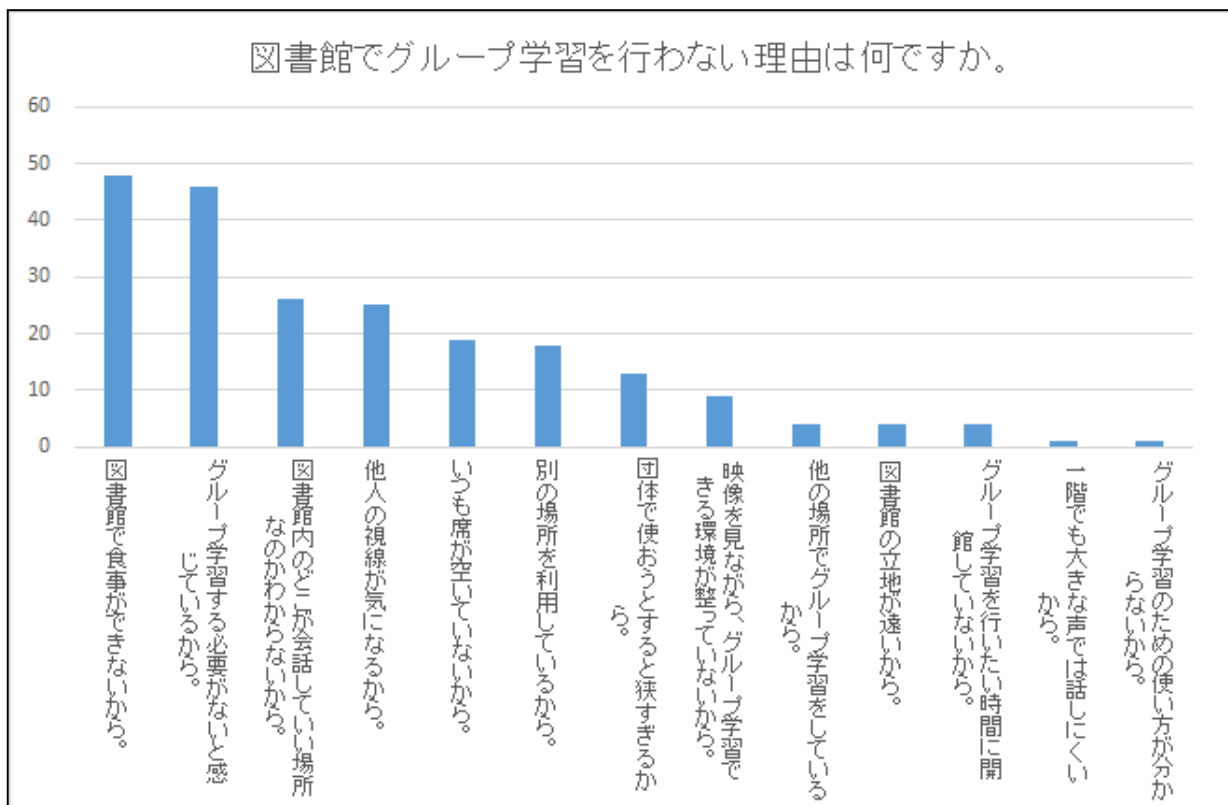
図書館がグループ学習を行う理由については、「集合するのに便利だから」129、「ホワイトボードを使えるから」114、「無料だから」109、「適度な静けさでグループ学習しやすいから」106、「ほかに場所がないから」83、「必要な資料が揃っているから」78といった回答が上位に集まった。ホワイトボードや資料など、図書館内の環境・備品が理由となっている回答、集合に便利であるということやほかに場所がないという、学内の環境を鑑みて図書館を選んでいると思われる回答が目立った。



【図書館でグループ学習を行わない理由は何ですか。】

図書館でグループ学習を行わない理由の上位3位については、「図書館で食事ができないから」48、「グループ学習するの必要がないと感じているから」46、「図書館内のどこが会話していい場所なのかわからないから」26であった。

図書館では飲食禁止のため、昼食・夕食などをはさんで学習したい学生は、グループ学習のために図書館は利用していないということが分かる。また、使い方のルールが分からないため使いにくいという不安を抱えている学生がいることもわかった。



■一人での学習について

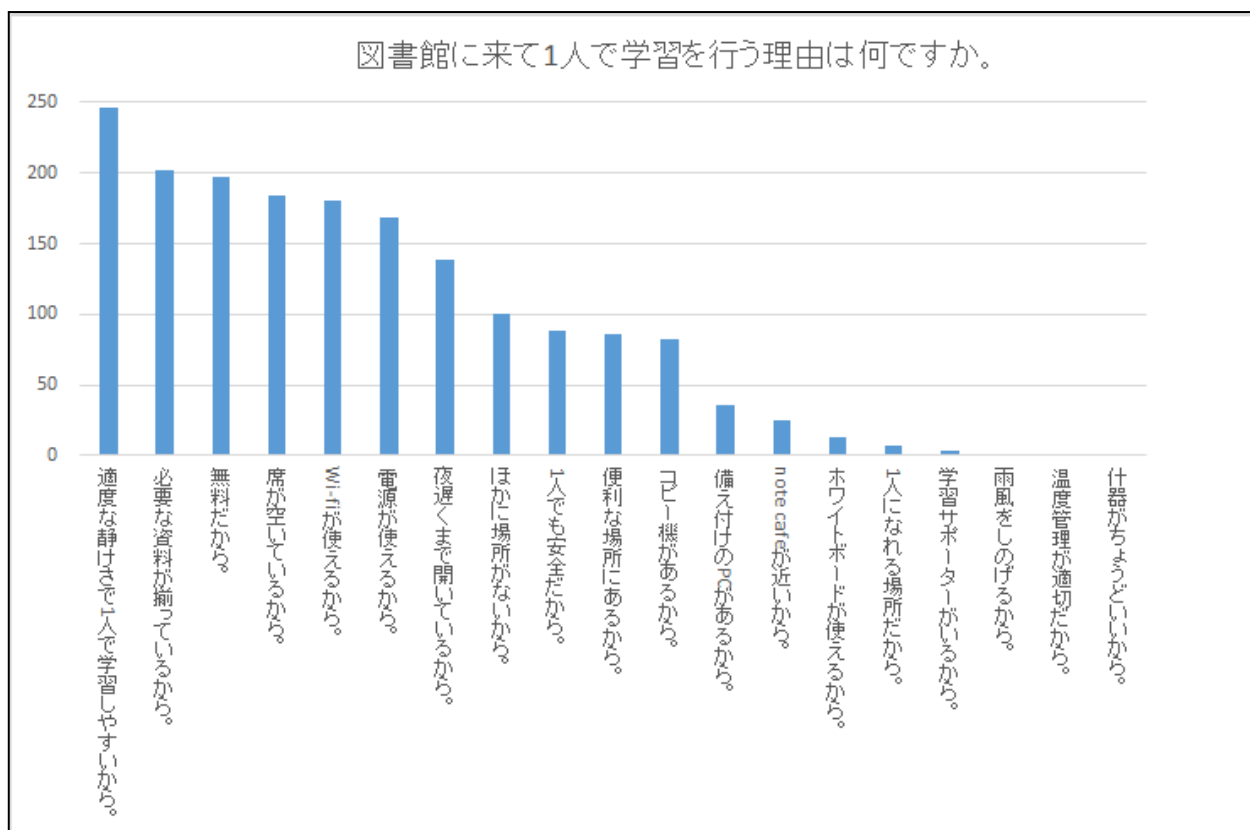
【図書館で1人で学習しますか。】

「はい/します」という回答が341件寄せられ、アンケートに回答した大半の学生は、従来通り一人で静かに学習する場所としても、図書館を利用しているということが分かる。

【図書館で一人で学習を行う理由は何ですか。】

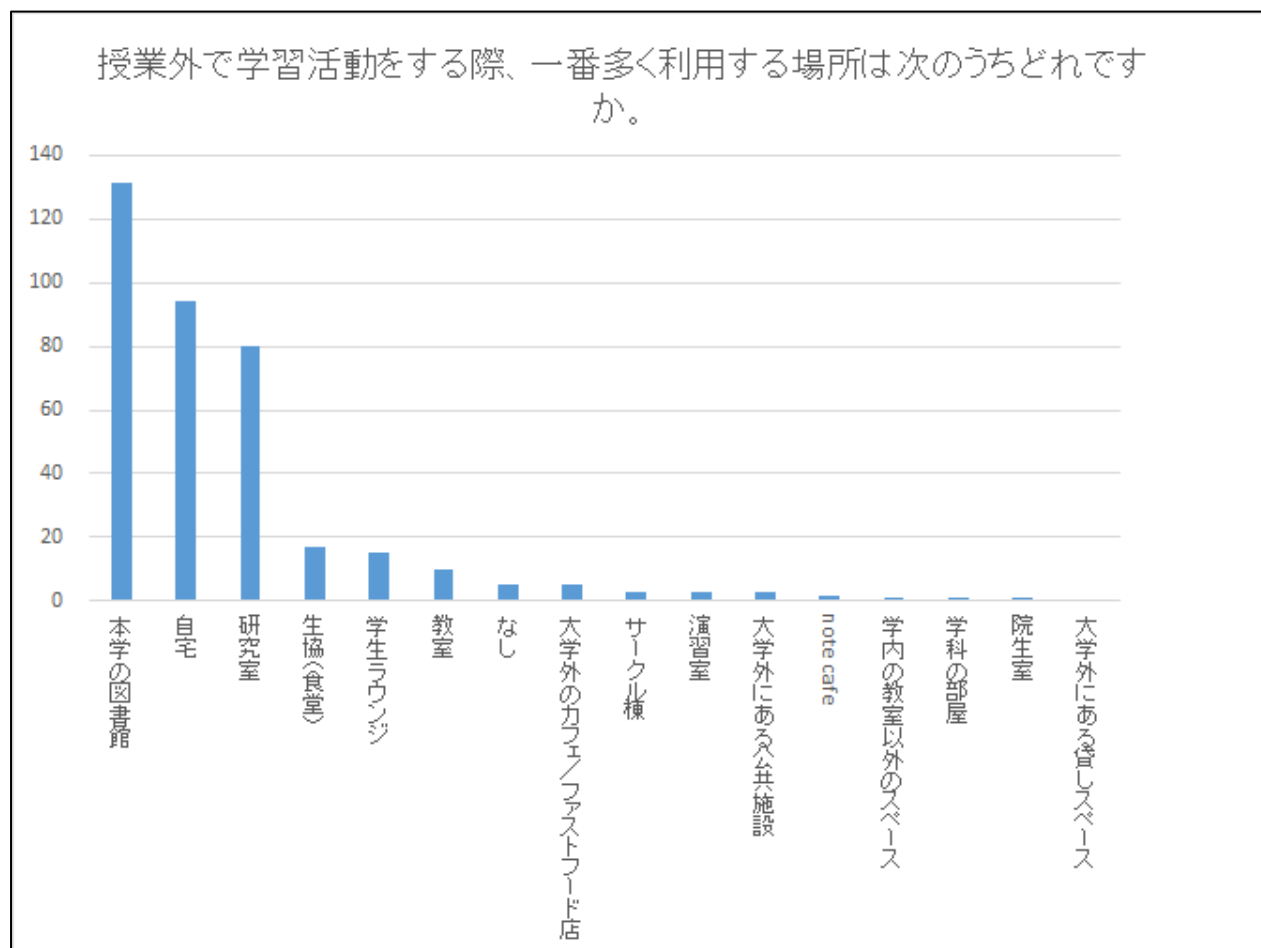
図書館を利用する理由としては、「適度な静けさで1人で学習しやすいから」246、「必要な資料が揃っているから」202、「無料だから」197、「席が空いているから」184、「Wi-fiが使えるから」180、「電源が使えるから」169、「夜遅くまで開いているから」139となっており、図書館内の施設や設備・備品が、静かに学習するためのニーズをおおむね満たしていると言える結果になった。

図書館でグループ学習する場合の結果と合わせると、ラーニングコモンズとその他の階（2、3階）とのゾーニングによって、図書館内でも学習スタイルに合わせて学生自身が利用するエリアを選んでいることが分かる。



【授業外で学習活動をする際、一番多く利用する場所は次のうちどれですか。】

上位3位は、「本学の図書館」131、「自宅」94、「研究室」80となっている。今回の抜粋には記載していないが、この次の項目では「どうしてその場所を選んだか」ということについて質問している。どの場所においても、電源（コンセント）、Wi-fiがある場所で学習するためという回答が上位に来ていた。



【あなたの参加している授業やゼミの課題を行うために、現在の図書館に足りないもの／空間は何だと思いますか。(複数回答可)】

「資料や文献」162、「電源が使える場所」81、「発声練習や朗読練習のできる場所」78が上位3位となった。資料は定期的に購入し利用に供しているが、それでも足りないと感じている学生が多数であり、アンケートの最後で記入してもらった自由記述欄にも資料の増加を求める声が多かった。また、同じく自由記述欄には、Wi-fiの強化、朗読練習やグループ討論のため、声の出せる空間を増やしてほしいといった意見も寄せられており、この項目で上位に入った設備とおおむね一致している。

〔「図書館に足りないもの／空間」回答項目一覧〕

資料や文献	162
電源が使える場所	81
発声練習や朗読練習のできる場所	78
グループで討論できる場所	69
Wi-Fi	67
教科書や指導書	54
デジタル教科書	45
静かに勉強できる場所	42
学生同士で交流できる場所	41
黒板	40
スクリーン、プロジェクタ	38
大きなテーブル	37
電子黒板	36
貸出用ノート PC	29
ホワイトボード	27
1対1で面談できる場所	26
文房具	23
30人程度でイベントができる広いスペース	20
備え付けの PC	18
飲食可能エリア	7
空調管理	4
一人席	2
ホワイトボード用マーカー	2
開館時間延長	2
絵本・保育関係資料	2
立って勉強できるスペース	1
予約無しでも使えるグループ学習室	1
防犯設備（防犯カメラ等）	1
防音設備のある個室	1
製作ができる場所	1
寝れるようなスペース	1
書庫での十分な資料閲覧スペース	1
手元に置く用の明かり	1
座る場所と机	1
座りやすい椅子	1
空間的な広さ	1

教科書の音声資料	1
喫煙ルーム	1
ラーニングコモンズの椅子	1
マイノリティへの対応（現職、夜間、非日本語母語話者、障害者）	1
デザインシンキングの考え方を取り入れた学習環境	1
自由に無料で印刷できる PC	1
ジャパナレッジのアクセス数制限の枠	1
えんた君	1
USB・現金の使える印刷機	1
1人で電源が使える席	1

以上